

## CONTENTS

1. 第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式開催・・・1
2. 第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール受賞者交流会開催・・・3
3. 第175回理事会開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4. ASM OSAKA出展 JASMAブース広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
5. 共通基盤ネットワーク研究会（戦略策定事業）・・・・・・・・・・・・・・・・4
6. 第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始・・・・・・4

## 1. 第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式開催

2024年3月2日（土）、日本工業倶楽部（東京都千代田丸の内）大ホールにおいて、第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの表彰式が5年ぶりに受賞者をお招きして、来賓、審査委員、報道関係者、当工業会関係者等約90名の出席のもと晴れやかに行われました。

最初に内梨 晋介会長から、お祝いの言葉と共に5年ぶりに対面での開催になったことに触れ、「受賞者の笑顔を直接拝見することができて大変うれしく思う」と挨拶がありました。44回目を迎えた本コンクールは、新型コロナウイルス感染症の5類移行もあり、学校生活が正常化に向かう中、全国の小学校・中学校・高等学校から、創造性豊かで個性が光る2,735点の作品応募がありました。審査委員による厳正な審査のもと、作品賞240点、学校賞3校が選ばれ、最優秀賞受賞作品は「2024日本ホビーショー」工業会ブースで展示を予定しています。続けて4月から募集開始となる第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールについて、「自分の感性や表現力、リサイクルやアップサイクル等、環境への配慮、SDGsへの関心の高い方にぜひ応募してほしい」。また、「情報マガジンソーイング大好き」について、「ミシンを通じて手作りの楽しさに触れる機会として、役立ててほしい」という案内がありました。最後に「ホームソーイングは、人と人とのコミュニケーションを深め、モノづくりの喜びを感じながら人が育つことに貢

献できる。本コンクールが、皆さんの将来の夢や活躍につながることを願っている」という言葉で締めくくられました。

続いてご来賓の経済産業省 製造産業局 産業機械課課長 安田 篤殿からの挨拶では、「作品づくりを楽しむことや試行錯誤は、今の日本の産業を支えているモノづくりの原点であり、モノづくりの楽しさ、大切さを楽しむ場をご提供いただいたご家族や学校関係者の皆様へ御礼申し上げます」と述べられました。また、「200年以上の歴史がある日本のミシンは、世界に誇る素晴らしい機能・性能を持ったものであることを覚えてほしい」という言葉がありました。

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 田邊 暁子殿から、「1790年にトーマス・セントがイギリスにおいてミシンの特許を取得してからちょうど200年に当たる平成3年3月4日にミシンの日を制定したと聞きました。また、ミシンが日本に伝わったのは、1854年にアメリカのペリーが第13代将軍徳川家定の奥様に献上されたのが最初という説があり、歴史の深さを感じました。ミシンについては、小学校では基本的操作を中心に、中学校では簡単な調整方法についても学習します。そして高等学校ではアパレル産業に携わる職業人となるための服飾に係る専門的な技術を習得していきます。手縫いからミシン縫いへ、直線から曲線へ、平面から立体へ、布を中心とする様々な材料を用いて色々な場面を想

像し物を作ることは、五感をフルに動かす大変重要な活動です。皆さんは今回の作品作りで出来上がりをイメージし合理的な作業方法や手順を考えながら進められたことでしょう。作り上げる過程では試行錯誤の連続だったと思いますが出来上がったときの達成感や、やり遂げたという思いは皆さんにとって人生の財産です。これからも様々な縫い方を活用して自分のアイデアを活かした小物や衣服等の作品作りに挑戦し続け、モノづくりを通して人生を豊かにしていただけたらと思います。」とご挨拶頂きました。

経済産業大臣賞は、安田課長から最優秀賞の5名に、また、文部科学大臣賞は田邊教科調査官から小学校、中学校、高等学校各1校にホームソーイング振興最優秀校として、賞状・副賞が授与されました。

この他、優秀賞、アイデア賞、SDGs特別賞は内梨会長から、特別賞の全国ミシン商工業協同組合連合会技術賞は、同連合会の高松 紘次郎理事長から、賞状・副賞の授与が行われました。

審査の結果については、審査委員長 櫻井 純子殿から、受賞者へのお祝いに続き、「今回の特徴として、全体的に一人ひとりの思いや願いを自由に表現している作品が多かったが、不安定な世相に反応して閉塞感があることを感じた故か、ダイナミックに挑戦した作品が少なかった。2点目としては、ミシンを上手に使った作品が多く、ミシンの機能を巧みに使って、作品作りをしていたと感じた。家庭に新しい機能を備えたミシンが普及してきたことと、身近な大人の適切なアドバイスや指導があったと思われる。特徴の3点目として、小学校の作品は飾ることを目的とした小物が少なく、着たい服や普段使いたい小物といった作品が圧倒的に多く、頑張りが伝わってきた。中学生はここ数年、本当に素晴らしくエネルギーに溢れている。高校生はレベルの高い作品が多いが少し落ち着いている。次に部門別に見ると、衣服部門で日常生活に使うような衣服が殆どなく、イベントの時に着るような衣服が多かった。オーガンジー等の非常に扱いにくい生地にも果敢に挑戦して、上手に工夫し苦労しながら取り組んだと思われる作品が多かった。高等学校には技術検定があり、普通のスーツなどが中心だが、そのような作品が全く見られなかったというのがさらに特徴と言える。街には手軽に普段着られる服が氾濫していることの反映かと思う。今回のコンクールで協調した

いことの一つは、リメイク・デコ作品部門が本当に充実した素晴らしい作品ばかりだった。たくさんリメイクされて「また使ってみよう」と思える作品、1枚の着物から色々な用途に使える物を作り出した上位入賞作品をはじめとして、優れた作品が多かった。また、複数名で作っている作品も、一つの明確な狙いをもち、具体的に作品としてどう表現するかを皆で考え、一つの作品に仕上げる。狙いをはっきりさせて、計画し工夫しながら作り上げることが大切だと改めて確認した。作品作りでの苦労や工夫したことなど自分で考えてトライしたことは、学習や生活に生きてくると思う。そのことを大事にしてこれからもぜひ色々なことに挑戦して欲しい。」と審査総評が語られました。

受賞者を代表して「高校生の部 衣服作品部門」で経済産業大臣賞を受賞した大阪府英風女子高等専修学校 三木 公美子さんから、「この度はこのような名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。振り返ると今回の表彰は私個人の力ではなく、いつも優しく見守ってくれる家族や先生、周りの支えがあったからこそ受賞出来たと思っています。中学校3年生の時から毎年応募しており、悔しい結果になったこともありましたが、最優秀賞を受賞することを目標に日々努力を重ねてきました。今回、私は「輝くドレス」という作品名のロングドレスを製作しました。シルエットとスカートの色使いにこだわり、どの角度、スカートがどんな重なり方をしてもきれいな色に見えるように色合わせを考えました。オーガンジーのスカートの裾にホースヘアを入れていく作業は大変難しく何度も縫い直し調整を繰り返しました。高校生最後の年に最優秀賞をいただけたことを励みに、4月からはファッションの専門学校へ進学し、今後も頑張っていきたいと思います。」と挨拶がありました。



安田 篤 産業機械課長



田邊 暁子 教科調査官



櫻井 純子 審査委員長

## 2. 第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール受賞者交流会開催

表彰式終了後、同大ホールにおいて受賞者とその家族、来賓、学校関係者、会員企業及び報道関係者が参加し受賞者交流会を開催しました。

会場には、経済産業大臣賞受賞作品をはじめ表彰式に出席された方々の展示が行われ、参加者は一つ一つの作品の優れた出来栄え、確かな縫製技術、個性豊かなオリジナリティに溢れる作品に感心し、改めて作品の素晴らしさを実感していました。

表彰式では、緊張の面持ちが見られた受賞者の皆さんでしたが、交流会場ではご家族、学校の先生達と歓談したり、作品の前で記念撮影をするなど、和やかな雰囲気の中、明るい笑顔の一時を過ごされました。

また、表彰式終了後、会場の一角では受賞者がインタビューを受け、受賞の喜びや作品づくりへの思い入れ、苦労話など話されていました。



## 3. 第175回理事会開催

2024年3月2日（土）、11時40分より日本工業倶楽部（東京都千代田区丸の内）において、当工業会の第175回理事会を開催しました。出席者は理事総数15名に対し9名（会場出席6名、オンライン出席3名）と過半数になり、理事会は成立しすべての議案を審議し承認可決しました。ご来賓として経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 國府田 勝行 殿、吉崎 航介 殿にご臨席（会場出席）いただき、議事終了後に「最近の政策動向」を中心にご説明をいただきました。

議題は以下のとおりです。

- 議題1. 2023年度事業報告（一部見込み）について
- 議題2. 2023年度収支決算見込みについて
- 議題3. 2024年度事業計画（案）について

議題4. 2024年度収支予算（案）について

議題5. 第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業及び第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業について

議題6. JIAM 展について

議題7. 共通基盤ネットワーク研究会について

議題8. インド強制規格発効に伴う家庭用ミシン規格策定について

議題9. 若手社員向け研修について

議題10. 今後のスケジュールについて 他

今後の主要な行事等は以下のとおりです。

会議・行事名等	日時・場所	議題他
第176回理事会 （書面審議）	2024年5月 日本縫製機械工業会	①2023年度事業報告、決算報告 ②2024年度事業計画（案）、収支予算（案） ③第55回定時総会の開催 他
正副会長会議	2024年6月7日（金） 12:00～14:20 日本工業倶楽部	①第55回定時総会の審議・報告事項 他

第55回定時総会	2024年6月7日(金) 14:30~16:30 日本工業倶楽部	①2023年度事業報告、決算報告 ②2024年度事業計画(案)、収支予算(案) ③JIAM展について 他
第55回定時総会后懇親会	2024年6月7日(金) 17:00~18:30 日本工業倶楽部	①定時総会后懇親会
正副会長会議	2024年10月11日(金) 12:45~14:15 ホテルグランヴィア大阪	①第177回理事会の審議・報告事項 他
第177回理事会	2024年10月11日(金) 14:30~16:30 ホテルグランヴィア大阪	①2024年度上期の事業概要 ②2024年度下期の事業 ③第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール 他
正副会長会議	2025年1月16日(木) 11:30~13:00 日本工業倶楽部	①2024年度予算執行状況 ②2025年度予算と会費徴収額 ③第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール 他
2025年新年賀詞交歓会	2025年1月16日(木) 13:30~15:00 日本工業倶楽部	①新年賀詞交歓会

#### 4. ASM OSAKA出展 JASMAブース広報活動

2024年2月16日(金)から17日(土)の2日間、インテックス大阪2号館で、第54回ASM OSAKAが開催されました。

開場に先立ち行われた開会式には、内梨会長の代理として近藤副会長が出席し、祝辞を述べられるとともにテープカットを行いました。また、JASMAブースを出展し、当工業会事業の紹介、JIAM 2024の広報活動を行いました。



#### 5. 共通基盤ネットワーク研究会(戦略策定事業)

事業の成果を報告書として取りまとめました。今後、会員向け説明会の開催を予定しています。詳細は決まり次第お知らせします。



#### 6. 第45回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール作品募集開始

全国の小・中・高校生を対象としたホームソーイング小・中・高校生作品コンクールは第45回を迎えました。今回も「SDGs特別賞」を設けています。全作品を対象としてSDGsの取り組みが小物を含めた衣生活にいかされた作品を選出します。また、小学生を対象に工業会ホームページにあります「ミシン手作りダイアリー」に載っているレシピを使って作った作品が対象となるミシンダイアリー部門を新設しました。詳細については当工業会ホームページをご覧ください。

##### 1. 応募部門:

##### (1)小学生の部(4・5・6年生)

※ミシンダイアリー部門を設けました。  
中学生、高校生の全ての作品部門を含み  
ます。

##### (2)中学生の部

- ①小物・インテリア作品部門
- ②衣服作品部門
- ③リメイク・デコ作品部門
- ④アニメ・ゲームコスチューム作品部門

(3) 高校生の部

- ①小物・インテリア作品部門
- ②衣服作品部門
- ③リメイク・デコ作品部門
- ④アニメ・ゲームコスチューム作品部門

2. 応募作品、応募方法等については、当工業会ホームページをご覧ください。

3. 締 切：2024年10月31日（木）

4. 応募先・お問い合わせ先：

一般社団法人日本縫製機械工業会  
「第45回作品コンクール」係

TEL. 03-6435-8190

FAX. 03-6435-8192

Eメール：[info@jasma.or.jp](mailto:info@jasma.or.jp)

URL：<http://jasma.or.jp>



## 編集後記

時の過行く様はなんと早いことか。

本年は元旦から能登半島地震をうけ、被災者やそのご家族に寄り添う表明が多くみられた。すでにそこから時間は過ぎ、多くの方が新年度を迎えている。当会では第45回作品コンクールの募集が始まり、**JIAM2024**も残すところ数ヶ月。展示会も備えが大切。

この先できることを少しでも整えて、過行く貴重な時を実感しながら歩んでゆきたい。

(T. F)

## JASMA 会 報

Vol.21 No.1 2024年4月18日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会

発行責任者：湯原 孝志

〒105-0004

東京都港区新橋 5-25-3 第二一松ビル2階

Tel. 03-6435-8190 Fax. 03-6435-8192

URL <https://jasma.or.jp>

e-mail [info@jasma.or.jp](mailto:info@jasma.or.jp)